

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0503006

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	11 社会保障制度の充実	事業優先度	B	
単位施策	1 国民健康保険・後期高齢者医療運営の安定化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	後期高齢者健康診査事業受託業務	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	健康診査受診率		#N/A	
事業目標	10%	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名	2 ⇒	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計 画 内 容	○北海道後期高齢者医療広域連合が実施する被保険者に対する健康診査業務及び保健指導業務を受託実施する。	・後期高齢者健診委託料	・後期高齢者健診委託料	・後期高齢者健診委託料	・後期高齢者健診委託料	・後期高齢者健診委託料
計 画 事 業 費	事業費(千円)	1,279	125	125	150	224
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	1,203	125	125	150	208
	一般財源	76				16
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,466	139	153	175	610
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	1,281	139	145	164	555
	一般財源	185		8	11	55
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) その他 ・受託収入  【評価・実績】	(実施内容等) ・後期高齢者広域連合からの委託に基づき、後期高齢者健診実施(健診率6.4%)  ※前年度評価結果	(実施内容等) ・後期高齢者広域連合からの委託に基づき、後期高齢者健診実施(健診率6.7%)  ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ・後期高齢者広域連合からの委託に基づき、後期高齢者健診実施(健診率6.8%)  ※前年度評価結果 B—継続/現状維持	(実施内容等) ・後期高齢者広域連合からの委託に基づき、後期高齢者健診実施(健診率13.3%)  ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ・後期高齢者広域連合からの委託に基づき、後期高齢者健診実施(健診率6.5%)  ※前年度評価結果 A—継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	10%	10%	10%	10%
		年度達成率	111%	122%	117%	272%
		全体達成率	11%	23%	37%	84%
		事業進捗状況	☆☆	☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆

事業名	後期高齢者健康診査事業受託業務	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎佳之
		評価者 作成者 職氏名	保険給付係長	安井雅憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	後期高齢者医療被保険者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)									
【抱える課題やニーズは】	後期高齢者医療制度の円滑運営	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	健康診査によって、事前に病気等を見つけ出すことによる、重症化予防	① 健康診査受診率 (受診者数÷被保険者数)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>毎年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>6.5%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>65.0%</td></tr> </table>	目標年度	毎年度	目標値	10%	実績値	6.5%	達成度	65.0%
目標年度	毎年度										
目標値	10%										
実績値	6.5%										
達成度	65.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	医療費の抑制	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	健診実施の周知	広報折込チラシ・ホームページ等により健診の実施日や内容を周知した。また、特定健診と一体的な周知実施とした。									
	健診の実施	特定健診と合わせて実施。町民センター等で行う集団健診と、町と契約している医療機関で個別健診を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	北海道内全ての市町村が広域連合から受託し、高齢者の健康管理の保持、疾病の早期発見に努め、医療費の適正化を図るための事業であり、本町においても必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	広域連合において受診率目標を定めてはいるが、本町においては総合計画の実施計画で、10%を目標としているところ、6.5%と下回っているが、高齢者への健診機会の提供のため、継続していく必要がある。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	特定健診の実施に合わせ、後期高齢者健診を実施しており、事務的負担を軽減している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	健康診査の主な経費は、広域連合からの収入と1割相当分の個人負担とされているが、より多くの高齢者が受診できるよう、個人負担を求めず町負担とし、また、町独自検査項目等も受益者が負担することなく実施している。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
目標値である受診率に達していないが、広域連合からの受託により事業を展開しているため、今後も引き続き実施していくことが必要である。	同左	

今後の展開方向(Action)	継続/現状維持	継続/現状維持
	今後においても、健診による重症化予防など、高齢者の健康維持を支えるための施策として継続していく。	同左

※展開方向の区分  
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 ○終了 ○休止 ○廃止